

クラウドを活用するエンジニアの力量が  
ビジネスの競争力を決める時代に！

お奨め  
します！

# クラウドネイティブまるごと理解 ～DevOps からマイクロサービス、クラウドデザインまで～

本コースは、クラウドネイティブ化のために必要となる、DevOps、CI/CD、Docker、Kubernetes、サーバーレス、マイクロサービス、クラウドデザイン等のポイントを1日で学べる研修です。

- クラウドネイティブ移行に取り組もうとしている企業
- 自社サービス開発に取り組もうとしている企業
- スキルシフトを目指すエンジニア

DXB01

1日

クラウドネイティブまるごと理解  
～DevOps からマイクロサービス、  
クラウドデザインまで～

当コースは、2019年8月まで実施していた「クラウドネイティブ人財育成道場」シリーズよりポイントとなる部分を構成したものです。

## お客様の声

- クラウドネイティブの考えを体系的に学ぶことができ、非常に有意義でした。
- アジャイルや DevOps から入ることで、何のためにクラウドネイティブであるべきか、目的を持って聞くことができました。
- 特にコンテナ、クラウドデザインについては、概要が理解できて今後のヒントにできました。
- クラウド設計思想から提案まで幅広く話を聞けてよかった。
- テンポよく事例を交えて講義いただけました。
- 非常に難しいところもありましたが、大変興味深かったです。

## ◆ 講師からのひとこと

クラウドネイティブとは、クラウド上で生み出されるクラウドでしか作ることができないアプリケーションを指します。従来の仮想サーバーベースで作られたものを IaaS へ移行しても、オンプレミスで稼働していた仮想サーバーと同じ構成ではクラウドネイティブとはいえません。本コースを通じて、開発系、インフラ系、マネージャー等それぞれの立場の方が共通理解を持つことで、先端技術を継続して推進するための下地を作ることができます。難しい用語や内容を分かりやすく噛み砕くのではなく難しいまま伝授し、外部でも通用する標準的な共通理解が身につくトレーニングを目指しています。

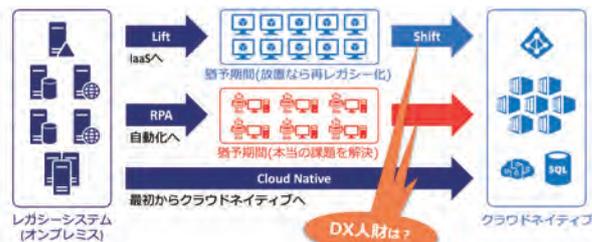
AWS や Microsoft Azure を利用しているだけでは、クラウドを活用できているとは言えません。

経済産業省は 2018 年 9 月、『DX レポート ～ IT システム「2025 年の崖」克服と DX の本格的な展開～』という、企業のシステム刷新について警鐘を鳴らす異例のレポートを発表しました。

そこから浮かび上がる、理想的なシステムの姿こそクラウドネイティブであり、求められているのは人財です。

この急務とされる人財育成に必要なのは、ゼロから始める育成ではなく、現場で活躍する IT エンジニアにクラウドネイティブのスキルを身につけさせるものであることでしょう。

新たな人財の確保が容易でないのは、誰もが実感していることではないでしょうか。そのためには、今活躍している IT エンジニアのスキルをトランスフォーメーションさせることが、この課題を解決する具体的かつ実行可能な方策となります。



# クラウドネイティブまるごと理解 ～ DevOps からマイクロサービス、クラウドデザインまで～

コースコード : DXB01

受講料 : 99,000 円 (税込)

受講期間 : 1日 <9時30分～17時30分>

- 対象者
  - ・アプリケーション開発エンジニア
  - ・インフラエンジニア
  - ・マネージャー
- 学習目標
  1. 自社またはお客様のシステムをクラウドネイティブ化するための基礎を身につける
  2. DevOps の本質を理解し、技術面だけでなく組織や文化の変革が必要なことを理解する
  3. 継続的デリバリーおよび自動化やマネジメントに必要なポイントを理解する
  4. コンテナ活用とマイクロサービス開発に必要なポイントを理解する
  5. クラウドデザインをベースとして設計をすることができる
- 前提条件
  - ・アプリケーション開発またはシステム運用の実務経験があること
  - ・クラウドの基本的な用語と仕組みを理解していること

本コースでは、電子テキスト(PDF)を配布しますので、ご自身が利用できるPCやタブレット等をご持参ください。ハンズオンはコース中に行わず持ち帰りし、オンライントレーニングである Microsoft Learn をご案内いたしますので、オフィスやご自宅等で納得できるまで繰り返し学んでいただけます。

## 内容 1. クラウドネイティブ概要

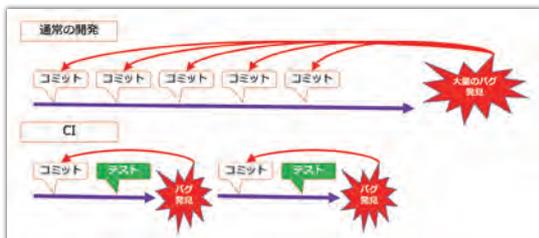
- 1-1 クラウドネイティブとは
- 1-2 基礎的なシステム構成例
- 1-3 クラウドネイティブ化するためには

## 2. DevOps

- 2-1 DevOps とは
- 2-2 リーンソフトウェア
- 2-3 アジャイル開発
- 2-4 スクラム
- 2-5 管理ツール
- 2-6 組織醸成

## 3. Continuous Delivery

- 3-1 ツール
- 3-2 パイプライン
- 3-3 Infrastructure as Code
- 3-4 オーケストレーション



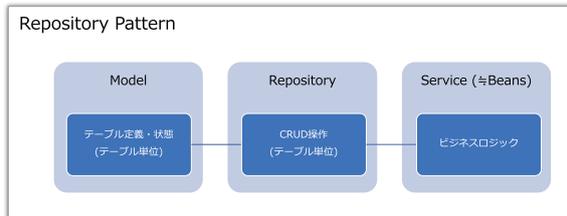
## 4. Container

- 4-1 Docker とは
- 4-2 Docker によるシステム構築
- 4-3 Immutable Infrastructure
- 4-4 Kubernetes とは
- 4-5 CNCF 周辺 OSS
- 4-6 Kubernetes によるシステム構築



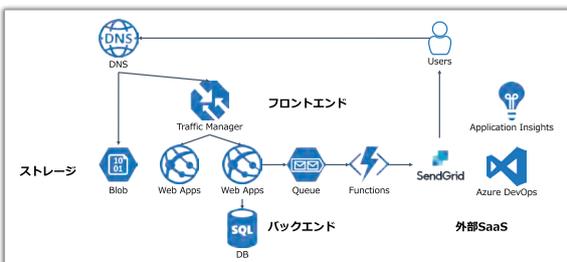
## 5. Microservice

- 5-1 マイクロサービスアーキテクチャーとは
- 5-2 アーキテクチャー概論
- 5-3 サービス分割
- 5-4 API ゲートウェイ設計
- 5-5 サーバーレスアーキテクチャー



## 6. Cloud Design

- 6-1 PaaS を使う理由
- 6-2 非機能要件の落とし込み
- 6-3 セキュリティ
- 6-4 PaaS を使ったシステム構成



## 7. クラウドネイティブ提案

- 7-1 クラウド活用におけるニーズの違い
- 7-2 クラウドネイティブ化

本コースでは、自らのサービスをどのように提供するかという視点から、クラウドを使いこなすための知識を身につけます。クラウドデザインでサービスがどのように動いているか理解できるようにし、フルマネージドサービスでのシステム設計、独立した小さなサービスを疎結合して 1 つのアプリケーションとするマイクロサービス、ドメイン駆動設計を用いたアプリケーション設計から Kubernetes へのデプロイ、およびその特有のリリースマネジメントといった様々な要素のポイントを重点的かつ網羅的に学びます。

お申し込み

[https://www.i-learning.jp/products/detail.php?course\\_code=DXB01](https://www.i-learning.jp/products/detail.php?course_code=DXB01)

### ● コース検索

アイラーニング コースコード 検索

※コースコードには、5桁のコースコードを入れて検索してください

### ● お問い合わせ

e-Mail : [contact@i-learning.jp](mailto:contact@i-learning.jp)

フリーダイヤル : 0120-623-629

<9:00～17:00> 土日祝日弊社休業日を除く



i-Learning facebook : [www.facebook.com/illearningjp/](https://www.facebook.com/illearningjp/)



i-Learning mail magazine : [www.i-learning.jp/form/mail.html](https://www.i-learning.jp/form/mail.html)

